

【肺がん検査】(喀痰細胞診検査)

以下の方は **検査対象外** となります

すでに「肺がん」または「肺がんの疑いがあり」と診断された方、
手術・治療をされた方、あるいは精密検査・経過観察中の方
診断をうけた病院での経過観察が必要です。

血痰の出る方

早めに病院で受診してください。



ご不明な点などございましたら下記までご連絡ください(平日9:00~17:15)

TEL:0120-82-1213(H.U. POCKeT株式会社)



検査ってどんなことをするの？

検体の中の異型細胞(正常ではないかたちの細胞)を顕微鏡で見て探します。
ふだん健康な人でも、気管支では1日100mL くらいの痰を分泌しているといわれています。
肺の気管支に肺がんができると痰の中に異型細胞が混ざります。痰を特殊な方法で固定、染色し、顕微鏡で丁寧に観察してがんの疑いのある異型細胞の有無を調べます。

喀痰検査で確実に肺がんを発見できますか？

肺がんが肺の末梢(末梢細気管支や肺胞)にできていると、異型細胞は痰に含まれにくくなります。また一般検診のレントゲン検査では、小さながんやある程度大きながんでも、がんのできた場所(X線の陰となる心臓や骨などの近く)によっては発見できない場合があります。ですから両方の検査を定期的に受けることががんの早期発見につながります。



肺がんの特徴

肺がんは男性の死亡原因の第1位です。その理由は第1に発見しにくいことです。第2に肺は呼吸をつかさどる重要な臓器で胃や子宮などのように全部摘出して治すことができないからです。

次のような方はぜひ早めの検査を！

- ① 喫煙指数が400を超える方 **喫煙指数** 1日に吸うたばこの本数×喫煙年数
- ② 早くからたばこを吸い始めた方
- ③ 痰や咳が長年に続く方
- ④ 家族にがんにかかった人がいる方
- ⑤ 放射線やアスベストを取り扱う方、粉じんの多い職場の方



検査って大切なんですね！

詳しい検査内容は次のとおりです。

〔基準値〕 classⅡ以下

〔判定基準〕 classⅢ以上の異型度を陽性とする

〔検体〕 ポストチューブにて3日間の蓄痰

※検査精度は落ちますが、痰が出ていれば1日分でも検査は可能です

〔必要日数〕 約2週間 休日を含む場合、必要日数よりかかる場合があります

〔保存〕 室温

〔郵送方法〕 郵便、受付票と検体を同封してください

※受付票には、住所、氏名、電話番号、生年月日、年齢、性別、アンケートにお答えください。

検査は株式会社日本医学臨床検査研究所が行います。

